

with you



熊本市の教育の基本理念

「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」

そのためにやっていること、これから取り組むこと。
いろいろな活動をご紹介します。

電子版 Vol.11

2022.8 月号

熊本市教育委員会

音楽に触れる そして、創造・想像していく

去る6月15日、秋津小学校で「Osaka Shion Wind Orchestra」演奏の鑑賞会が行われました。

これは、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」を活用することで、実現したものです。

今回は、この演奏会に密着しました！

文化庁「文化芸術による子供の育成事業」って？

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による計画的・継続的なワークショップ等を実施することにより、子どもたちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的とした事業です。（文化庁 HP より）

今回の演奏会はどんなもの？

ペールギュント組曲から「朝」、「ライオンキング」など、子ども達にもなじみのある音楽が多く、曲の紹介もあり、音楽に入り込みやすい演奏会でした。

楽器の紹介では、管楽器・打楽器・弦楽器、それぞれの特徴の説明がありました。

子ども達を惹きつける工夫 ～Osaka Shion Wind Orchestra より～

デフォルメも含めながら、強弱を豊かに演奏し、合間に楽しいおしゃべりを取り入れながら、分かりやすく演奏しています。

音楽を聴いて、それぞれが何かを感じてもらえたら嬉しいです！

音楽が生活の一部になることを願っています。

ホンモノに触れる

秋津小は、外遊びが大好きで、素直や明るさがトレードマーク！

そんな元気いっぱいの子どもたちが、演奏会の間、

音楽に魅せられて静かに聴き入り、惹きこまれていました。

音楽に合わせて体を揺らしている様子も見られました。

初めての指揮者体験

代表の子ども達が指揮者体験をしました
サプライズで、先生も体験し、大盛況でした！



うまくできました！



人前で緊張しました！



楽しかった!!



心臓が口から出そうでした💦

YouTubeでの限定公開もありました！

今回、参加したのは5～6年生の子どもたち。
残念ながら、参加できなかった学年には、YouTubeで
配信（限定公開）し、全ての学年が楽しめました。
また、アーカイブ配信で、後日楽しめる工夫も。

子ども達の感想

- ・みんな一生懸命頑張っていて、すごかったです。
- ・（演奏のあった）ライオンキングは、習っているバレエでも聴いていた音楽で、感動しました。
- ・ひとつひとつの楽器が活躍していました。**ホンモノの音楽**が聴けました。
- ・管楽器のプレスや、打楽器の音の強弱がはっきりしていてすごかったです。
- ・いろいろな楽器での演奏で、迫力があって面白かったです。



ホンモノに触れることで、
それぞれ得られたものがありました。

熊本の子供達へのメッセージ

～Osaka Shion Wind Orchestra より～

将来の熊本を支えていくのは、皆さんです。
大きな地震を経験されたかと思いますが、
今後も何事にも負けず、熊本を支えていってくださいね。
協力し合えば、きっと何でもできるはずです。



たくさんの子供達が
サインを求めています。
快く応じていただきました！

ウラ話

ワクワクしすぎて・・・

今回、この事業に申し込んだのは
音楽専科の杉水先生。
楽しすぎて前日は眠れなかったそうです！
ちなみに、事業への申請に関するコツが
あるそうですよ！



校則テーマに議論

『子ども議会（中生連夏季研修会）』3年ぶりの開催

熊本市議会の本会議場において8月2日、『子ども議会（中生連夏季研修会）』が開催され、熊本市内の市立・私立・国立の各中学校の代表生徒44名が参加しました。
新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。

今回は「全校生徒が本気で取り組む学校づくり～『校則』について考える取組を通して～」がテーマでした。

まず、4つのグループに分かれて議論しました。

議論した結果について、各グループが本会議場の壇上で発表しました。



「校則をみんなに理解してもらえるように動画をつくる」

「校則の見直しの取り組み前に多様性について考える講演を聴く」

「体育服のように性別関係なく着ることができる第3の制服ができればよい」

など、柔軟な発想で考えた意見が発表されました。

最後に深水副市長の講評の中で、中学生の堂々とした発表を褒めてもらいました。

また、熊本市の将来を担うリーダーにエールが送られました。



【参加した生徒の意見】

同じような課題を抱えていることに対し、改善策の考えに面白いものが多く、学校に帰ってアウトプットするよい学びになった。

自分では出せない色々な視点から考えが出され納得するものばかりだった。来年生徒会に入ってもっといい学校にしていきたい。





注目ニュース



熊本市立幼稚園まなび創造プログラムを策定しました！

市立幼稚園が幼児教育の拠点としての役割を担い、より質の高い幼児教育を提供していくための基本的な指針として、熊本市立幼稚園まなび創造プログラムを策定しました。

1. 市立幼稚園に求められる役割

公立の教育機関として、自ら質の高い幼児教育を実践するとともに、幼稚園と小学校の設置者が同じという特性を生かして幼小連携の取組の中心的役割を担い、民間では対応が難しい特別な配慮を必要とする幼児への支援の充実を図り、本市の幼児教育の質の向上に寄与する。

2. 基本目標

遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む教育の推進

3. めざす子どもの姿

- 安心して自分を発揮する子ども
- みんなと楽しみながら関わり、好奇心をもつ子ども
- 思いをふくらませ、夢中になって遊ぶ子ども

4. 施策

施策1 魅力ある幼児教育の実践

標準指導計画の作成、遊びを通しての総合的な指導の充実
職員体制の充実、学級定員の見直し（少人数学級の推進）など

施策2 特別支援教育の充実

ことばの教室・あゆみの教室の拡充（市立幼稚園各園等へ設置拡充）
特別支援教育の専門性の向上、児童発達支援事業所等との連携など

施策3 幼小連携の推進

幼小連携カリキュラムの充実と活用促進、幼小連携支援員の配置
幼小中連携の充実、幼稚園と小学校の人事交流など

施策4 家庭教育支援等の充実

幼児教育相談の充実、スクールソーシャルワーカー等の派遣
子育てや子どもの発達に関する情報提供、預かり保育等の継続実施

5. プログラムの期間

令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間

<問い合わせ先> 学校改革推進課 Tel ☎ 328-2708
（詳しくは、熊本市ホームページをご覧ください。→）





お知らせ イベントなどの情報を掲載しています



熊本市立図書館「夏休みに役立つ本展」

熊本市立図書館では、夏休みを迎える子どもたちのため、自由研究・調べ学習・外国語・キャンプ・応急手当・磯や川の生き物など幅広く展示・貸し出しています。どなたでもご利用できますので、ぜひご覧ください。

【期間】7月12日（火）～8月28日（日）

【内容】自由研究・調べ学習などで役に立つ資料の展示

【場所】熊本市立図書館1階カウンター前



<問い合わせ先> 熊本市立図書館 ☎363-4522



物価高騰対策教育費臨時特別給付金について

（目的）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、物価高騰に直面する学齢期の児童生徒がいる就学困難世帯に対し、家計における教育費の支援を行うため、物価高騰対策教育費臨時特別給付金を支給します。

（対象者）

令和4年4月1日～令和5年2月28日までに熊本市就学援助の認定を受けた方

（支給額）※1回限り

小学生 対象児童一人当たり 5,500円

中学生 対象生徒一人当たり 6,500円

（申請手続き）

この給付金に対する申請は不要です。対象期間内に就学援助の認定を受けた方に自動的に支給しますので、給付金を希望する方は、対象期間内に就学援助の認定を受けてください。

<問い合わせ先> 指導課 ☎328-2716



熊本博物館創立 70 周年／KKT 熊本県民テレビ開局 40 周年記念特別展

世界の大翼竜展

恐竜全盛期 空は翼竜が支配していた

翼竜

それは地球史上初めて空に羽ばたいた脊椎動物であり、恐竜時代の空の支配者でした。1 億 5000 万年以上の長きに渡って空の生態系の頂点に君臨した彼らは、いったいどのような生物だったのでしょうか。

本展では最新の研究によって明らかになりつつある翼竜たちのすがたに迫ります。

【会期】2022 年 7 月 16 日(土)～9 月 4 日(日)

【会場】熊本博物館 特別展示室1・2・3

【料金】一般:1200 円 シニア(65 歳以上):1000 円

高大生:900 円 小中学生:600 円

※未就学児、障がい者手帳をお持ちの方は無料です。

※特別展のチケットで常設展もご覧いただけます。

【主催】世界の大翼竜展実行委員会

(熊本博物館・KKT 熊本県民テレビ)

【後援】熊本県教育委員会／熊本県博物館連絡協議会／熊本国際観光コンベンション協会／

熊本日日新聞社／FMK／FM791

【展示協力】国立科学博物館／御船町恐竜博物館／天草市立御所浦白亜紀資料館／熊本大学
／北九州市立自然史・歴史博物館／久留米市鳥類センター／佐賀県立宇宙科学館／
長崎市恐竜博物館／群馬県立自然史博物館／福井県立恐竜博物館／福井県立大
学／三笠市立博物館／野毛山動物園



©Atlantic Productions/ZOO

【プラネタリウム番組】

フライングモンスター

はるか昔、恐竜たちが地上を歩き回っていた頃、大空を支配していたのは「翼竜」というモンスターたちだった。

今から約 2 億年前、はじめて現れた翼竜は、まだ小さくて、うまく飛ぶことができなかった。けれども長い年月をかけて少しずつ進化をしていき、自由に空を飛び、上手に獲物をとれるようになっていく。

そして約 7000 万年前には、約 12m という巨大な翼竜が空を支配するようになっていた。

翼竜はなぜ誕生し、どんな進化を遂げたのか。

地球のさまざまな場所から発見された化石たちに、その秘密が隠されている。

古生物学者たちの、謎解きへの挑戦が始まった！

<問い合わせ先> 熊本博物館 ☎ 3 2 4 - 3 5 0 0



突撃インタビュー

新しい教育委員会委員が就任しました！

令和4年4月から、新たに教育委員会の委員として就任された澤 栄美(さわ えみ)委員。長年、学校現場でもご活躍されている経験を踏まえ、今回、いろいろな話を伺いました。



澤 栄美 委員

熊本大学養護教諭特別別科修了
岐阜大学大学院教育学研究科修了
熊本市スクールカウンセラー

令和4年4月～教育委員会委員就任

趣味:水泳・読書

--教育委員としての意気込みをお聞かせください。また、教育委員として今後取り組みたいことはありますか。
長年の現場経験(特に養護教諭の視点)を生かして、学校の現状や子どもの実態、保護者の思い等の「事実」を俯瞰的に捉えたうえで、熊本の教育に対して発展的な発言や関わりができるよう努力したいと思います。

できるだけ、教員をはじめ、様々な教育に関わる立場の方の声や保護者の声を聞く機会を持ち、今後の活動に生かして行きたいと思います。特に、不登校など、学校生活の中で困り感を持っている子ども達の不安の解消に尽力できたらと考えています。

--熊本市の子ども達の良いところは、どのようなところだとお考えでしょうか。

養護教諭退職後も、学校に行く機会が度々ありますが、よく挨拶をしてくれます。また、ここ数年タブレット端末が学校の授業で使われることが多くなり、臆せず、創造的な学びに生かしている姿を頼もしく感じています。

--今の学校教育で変えたいところ、また反対に、残しておきたいところは何ですか。
「学力」の意味が点数主義に偏らないようにする必要があると思います。また、一部の子どもだけが活躍するのではなく、それぞれの多様性が認められ個性を生かした教育がなされる必要があると考えます。

熊本市では、現在、校則見直しなど、子ども達が「自分事」として教育・学校に関わる機会が持てるようになって来ました。そのような機会は、今後も継続していけるようにしたいです。

--スクールカウンセラーとしてもご活躍されていますが、カウンセリングを通して得られたこと、感じていることはありますか。

まず、子どもも、日々、悩んで成長しているし、保護者のみなさんも子どもを思い一生懸命なのだと感じます。

養護教諭時代の経験からも、先に述べた「点数主義」のように、親御さんのこれまでの経験で得た価値を子どもに向けることで、子どもが辛くなっている場合もありますし、親御さん自身が、その価値に縛られ苦しんでいる事例もあります。他との比較ではなく、子どもの個性や良さをしっかりみつけることが大切だと感じています。また、うまく行かなければ、別の方法を考え、少しずつ試してみる等、柔軟に対応することも大切だと思います。

先の見えない変化の激しい 複雑な時代に必要なのは、 個性を生かし 共に助け合う力

--子どもたち、保護者の皆様へメッセージをお願いします。
これからの時代は、先の見えない変化の激しい複雑な時代だと言われています。そのような時代に必要なのは、個性を生かし共に助け合う力です。それぞれの良さを生かして、学びを進めてください。

また、自己実現のためには、その基礎として生理的欲求(食欲や睡眠欲など)や安全欲求(安心できる環境など)が満たされている必要があり、心身が健康であることが第一です。当たり前のようで、意外に「なおざり」になりがち健康な生活の実践についても、ぜひ頭において欲しいと思います。

--澤委員、ありがとうございました。

熊本市教育員会では、毎月の教育委員会会議をYouTubeにてライブ配信しています。

澤委員の活躍は、そちらでも確認できます。
これまでの会議は、アーカイブ配信を行っていますので、ぜひご覧ください！



取組紹介

広げよう地域教育の輪

特色ある地域教育の取組をリレー方式で発信し、子どもたちの多様な学びを支援します。
今回は「画図小ガーデニングクラブ」の取組について、代表の矢田さんにお話を伺いました。

～ガーデニングクラブについて～

2011年春に発足し、今年度で12年目を迎えるボランティア団体で、画図小学校の花壇やプランターのガーデニングを行っています。

会員数は約30名で、在校生の保護者が約7割、約3割が卒業生の保護者です。

校内にある中村汀女の歌碑の周りの色とりどりの花壇は、当クラブによる力作です。



ガーデニングクラブによる中村汀女歌碑の周りの色とりどりの花々

～できる人ができる時にできる範囲で～

「参加するかどうかは自由です。できる人ができる時に、できる範囲で楽しむという感じです。働いている人もいるので無理はしません。」

「苗や肥料などの必要経費も自分たちで生み出しています。画図校区で行われるイベントで、種から育てた苗等を販売しています。」

このクラブには、多肉植物の寄植えが得意な人やハンドメイドクラフトが得意な人、パン作りが得意な人もいて、バザーの時も大活躍です。」と矢田さん。



雑談を楽しみながらプランターへの花植えをする会員の皆さん

～元気になって帰ります!!～

「子育てに関する事など、ワイワイ雑談しながらガーデニングに精を出します。仲間に自分の話をしたり、仲間の話を聴いていたりすると、自分は一人じゃない!と思えてきて、元気になって帰ります。」と矢田さんが教えてくださったのが印象的でした。

作業中、子ども達や教職員が声かけに來たりされました。取材に行った私も元気になって帰りました。



前列右から2番目が代表の矢田さん